

スには個人的にただただ羨望させられる。これは別にこの博物館やカナダに限ったことではなく、特にヨーロッパを訪れた時に強く感じさせられることである。

自然博物館の昆虫学分野では、恒常的にコレクション内容の拡充に努めており、標本の貸し出しや交換に積極的に応じているそうなので、興味ある方は一度連絡してみたい。特に研究目的での未同定標本の借用や、アジア産甲虫の同定標本との交換は歓迎されるし、寄贈標本もとても大切に扱ってもらえると思う。連絡先は下記の通りである。

Robert S. Anderson/François Génier
Entomology Section, Canadian Museum of Nature,
P.O. Box 3443, Station D, Ottawa, ON. K1P 6P4
CANADA

謝辞

以下の方々のおかげで私と家族のカナダ滞在は大変有意義で充実したものとなった。記して深謝

の意を表したい。

カナダ自然博物館：Robert & Catherine Anderson, François & Carole Génier, Stewart Peck & Jarmila Kukalová-Peck, Andrew Smith, Michel Gosselin, Xiao-Chun Wu；カナダ農務・農産食品省：Patrice, Karen, Mathieu & Téa Bouchard, Serge LaPlante；カナダ食糧検査機関：Vasily, Tatiana & Dara Grebennikov, Bruce & Jocelyn Gill；ケベック市：Gilbert Dupuis；モントリオール市：Pierre de Tonnacour（敬称略）。

また、私の在外研究に際して種々お世話になった農環研の宮下清貴理事長と長谷部亮理事、井出任研究統括主幹、對馬誠也農業環境インベントリーセンター長、企画・連携推進室、総務・財務管理室、そして昆虫標本館の皆さんに厚く御礼申し上げる。特に吉松慎一・中谷至伸両博士には草稿にも目を通していただいた。

（2014年7月14日受領，2014年8月21日受理）

【短報】福岡県からのオオズハイロハネカクシの記録

オオズハイロハネカクシ *Philetaerius elegans* Sharp, 1889 は、ケアリ属 *Lasius* クサアリ亜属 *Dendrolasius*（以下、クサアリ）のアリの巣周辺に見いだされ、他の好蟻性ハネカクシなどを捕食することが知られる（丸山ら，2013）。日本産近縁属からはその特異な形態的特徴や生態的特徴から容易に識別できる。

九州からの記録は少なく、近隣の県からは大分県の記録があるが（三宅，2012）、福岡県下の記録はないものと思われる。筆者らは、福岡県から本種を採集したのでここに報告する。

2 exs. (図1)、福岡県太宰府市北谷（標高 670 m）、7. VIII. 2013、山本周平採集・九州大学総合研究博物館保

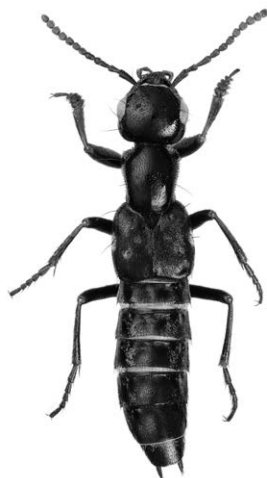


図1. 太宰府市産オオズハイロハネカクシ。スケール：2.0 mm.

管。

2 exs., 福岡県福岡市西区元岡（標高 40 m）、15. IV. 2014, 辻尚道採集・辻保管。

太宰府市の採集例では、照葉樹林林縁部に位置するヒノキ樹洞内に営巣していたクサアリ（未記載種）の行列に混じって得られた。福岡市の採集例では、照葉樹林内のアラカシ樹洞内に営巣されたクサアリモドキ *L. (D.) spathepus* Weeler, 1910 の巣周辺を徘徊している個体を採集した。

末筆になるが、得られた寄主アリの同定を下さった丸山宗利博士（九州大学総合研究博物館）に厚くお礼申し上げます。

引用文献

- 丸山宗利・小松 貴・工藤誠也・島田 拓・木野村 恭一，2013. アリの巣の生きもの図鑑。東海大学出版会，秦野市。v-xii+208 pp.
三宅 武，2012. 特異なハネカクシ数種の記録。二豊のむし，(50): 93-94.

（辻 尚道 819-1107 糸島市波多江駅北 2-22-32 ヴァンヴェール NA511 号）

（山本周平 812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学大学院生物資源環境科学府昆虫学教室）